



県道 桑院赤毛線	氷見市赤毛字定抗1番地 先から 氷見市赤毛字定抗89番1 地先まで	変更前	A	最大 15.4 最小 4.8	108.0	高岡土木 センター 氷見土木 事務所
	氷見市赤毛字定抗1番か ら 氷見市赤毛字定抗89番1 まで		B	最大 11.0 最小 6.2		
	氷見市赤毛字定抗1番地 先から 氷見市赤毛字定抗89番1 地先まで	変更後	A	最大 15.4 最小 4.8	108.0	

### 富山県告示第474号

道路の供用開始について

次のとおり道路の供用を開始するので、道路法（昭和27年法律第180号）第18条第2項の規定により公示する。

なお、関係図面は、富山県土木部道路課及び次の縦覧場所において12月7日から1箇月間一般の縦覧に供する。

令和3年12月6日

富山県知事 新 田 八 朗

道路の種類 及び路線名	区 間	供用開始の期日	縦覧場所
県道 富山上滝立 山線	富山市和田字下平割 117番1から 富山市和田字下平割 117番2まで	令和3年12月7日	富山土木 センター
県道 万尾脇方線	氷見市大野字池田4093番3から 氷見市泉字念仏 465番1地先まで	令和3年12月7日	高岡土木 センター 氷見土木 事務所

公 告

開発行為の工事完了

都市計画法（昭和43年法律第100号）第29条第1項の規定により許可した開発行為に関する工事が完了したので、同法第36条第3項の規定により公告する。

令和3年12月6日

富山県知事 新 田 八 朗

開発区域又は工区に含まれる地域の名称	公 共 施 設		開 発 許 可 を 受 け た 者	
	位置・区域	種 類	住 所	氏 名
射水市戸破字加茂1689番2、1902番10、1902番13及び1904番1並びに黒河字二十石5410番3、5410番4、5410番5、5411番3、5415番1及び5416番			富山市桜町一丁目6番18号	有限会社桜町商事

監査の結果の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、令和3年10月に富山県監査委員監査基準に準拠し実施した監査の結果を、同条第9項の規定により次のとおり公表する。

令和3年12月6日

富山県監査委員 筱 岡 貞 郎  
 富山県監査委員 永 森 直 人  
 富山県監査委員 天 坂 幸 治  
 富山県監査委員 高 橋 正 樹

1 監査対象箇所

監 査 年 月 日

知事政策局 首 都 圏 本 部 令和3年10月26日  
 地方創生局 総 合 交 通 政 策 室 令和3年10月29日

---

監査対象箇所		監査年月日
地方創生局	観光振興室	令和3年10月25日
経営管理部	税務課	令和3年10月11日
同	総合県税事務所	令和3年10月18日
農林水産部	農林水産企画課	令和3年10月1日
同	農産食品課	令和3年10月1日
同	農業経営課	令和3年10月1日
同	農村整備課	令和3年10月6日
同	農村振興課	令和3年10月4日
同	森林政策課	令和3年10月4日
同	水産漁港課	令和3年10月4日
同	農林水産総合技術センター	令和3年10月7日
土木部	管理課	令和3年10月18日
同	建設技術企画課	令和3年10月6日
同	道路課	令和3年10月22日
同	河川課	令和3年10月18日
同	砂防課	令和3年10月22日
同	港湾課	令和3年10月25日
同	都市計画課	令和3年10月25日
同	建築住宅課	令和3年10月11日
同	営繕課	令和3年10月22日
同	新川土木センター	令和3年10月7日
同	高岡土木センター	令和3年10月13日
同	砺波土木センター	令和3年10月12日
同	境川ダム管理事務所	令和3年10月12日

---

## 2 監査対象年度

令和元年度及び令和2年度

## 3 監査結果

財務に関連する事務事業の執行等が適正かつ効率的に行われているか等について、監査対象所属から資料の提出を求め、その内容を確認するなどの方法により監査したところ、大方の監査対象箇所において、おおむね適正に行われていると認められたが、一部において次のとおり留意改善すべき事項があったので、今後、一層適正な執行に努められたい。

### <<指摘事項>>

ア 施設管理事故による損害賠償があった。(建築住宅課)

### <<注意事項>>

ア 歳入調定に遅延しているものがあった。(3箇所)

イ 収入科目を誤っているものがあった。

ウ 歳入調定で年度区分を誤っているものがあった。

エ 現金の払込みに遅延しているものがあった。

オ 過年度支出が生じた。(6箇所)

カ 支払が遅れているものがあった。

キ 契約手続が適正でないものがあった。(2箇所)

ク 委託の設計額に誤りがあった。

ケ 交通事故による損害が生じた。(2箇所)

コ 施設管理事故による損害賠償があった。(2箇所)

サ 備品使用簿、物品出納計算書及び物品現在高調書に未整理のものがあった。  
(2箇所)

